

グラスフィッター 森一生によるスタイリング

桐谷美玲、新作眼鏡を纏う

Photo／藤田一浩 Fujita Kazuhiro、Hair&Make-up／paku ☆ chan
Styling／Yoshino、Eyewear Styling／森 一生 Mori Issei
Text／鈴木里子 Suzuki Satoko (P21)

いまもっとも勢いのある女優のひとり、桐谷美玲さん。

日常でも眼鏡やサングラスを愛用しているという。

ここでは、グラスフィッターの森 一生さんに
スタイリングいただき、多くの新作眼鏡を掛けてもらった。

そのなかから、とくにお似合いの4点をピックアップ。



LINDBERG デザイナー

ヘンリック・リンダーバーグ

デザイン施設

21_21 DESIGN SIGHT

「建築家 フランク・ゲーリー展 “I Have an Idea”」

来日デザイナーによる

My Favorite Japan

来日したデザイナーに、日本の好きな場所や好きなもの、
行ってみたいところなどをインタビュー。そこへ一緒に行くと、
展示会でお会いするときとは異なる一面をみることができました。

Photo／徳永 彩 Tokunaga Aya

手元にあったのは4〜5万ドルだけだ。それが予算のすべて。
わかりやすく言えば、料理のようなものだ。
その都度材料を突っ込んでいったら、突然パンと出来上がった。
そういう感じだったな。
I had \$40,000 or \$50,000 to work with. I had to do it with that budget.
The best way to describe it is when you cook, you put the ingredients in,
as you go, and then wham, it's done. It felt like that.

世界的に活躍する建築家、フランク・ゲーリーのアイデアに焦点をあてた企画展にヘンリックさんを案内しました。ヘンリックさんはもともと建築家ということもあり、興味深く店内を鑑賞。するとポスターや映像などから、フランク・ゲーリーさんがリンダーバーグの愛用者だったことが判明。また、この安藤忠雄建築に感動していたよう。特に入口の横長に伸びた窓をみて、日本の技術力は素晴らしい！と感嘆の声を上げられていました。

展覧会「建築家 フランク・ゲーリー展 “I Have an Idea”」は2016年2月7日（日）まで。
www.2121designsight.jp

10月末に、渋谷の「グローブスボックス」のショップにて、ヘンリック氏が参加しての初のトランクショーが行われた。リンダーバーグの製品のみで埋め尽くされた店内。バリエーションの多いリンダーバーグの全ラインナップが見られるとあり、大盛況に終わった。

のクソだ。

CUTLER AND GROSS

カトラー＆グロス



デザイナー
Marie Wilkinson

「1203 Col.CTP」
オープン価格
http://www.cutlerandgross.com



Work hard and be nice to people
Marie

精一杯やって、人には優しく

Bobby Sings Standard,

ボビーシングススタンダード



デザイナー
森山秀人



「BRX-09 Col.05」
価格4万5360円
®アナマリヤ

たかがメガネ。
されどメガネ。

SILMO GUIDE 2015

デザイナーに 座右の銘を聞きました

デザイナーがデザインする上で、大切にしていることは？
シルモ会場にて、その場でデザイナー自身にスケッチブックに
“モットー”を書いてもらいました。新作眼鏡とともにそれを紹介する。

Photo (Still) / 青木健格 Aoki Takenori (WPP)

FACE A FACE

ファース ア ファース



デザイナー
Pascal Jaulent

「WINDS1 Col.100」
価格4万4496円
®ファース ア ファース ジャパン



Passion Creativity Harmony
FACE A FACE
Pascal JAULENT

情熱・創造・調和

ENTOURAGE OF 7

アントラージュ オブ セブン



デザイナー
Jakob Talbo

「MERCED Col.68」
価格4万7250円
®ベリンガー・ジャパン

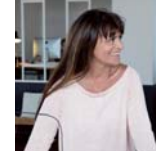


CALIFORNIA
DREAMING

夢のカリフォルニア

Anne et Valentin

アン バレнтаイン



デザイナー
Anne et Valentin



「HALO Col.BC77」
価格4万7520円
®グローブスペックス エージェント

La femme esthétique de la marque Anne et Valentin
embrasse le feu en relation avec le vrai.

審美さとはアイウェアの色や形がその人らしく似合うということ。

ALLIED METAL WORKS

アライド メタルワークス



デザイナー
Gunnar Gunnarsson



「A070 Col.2」
価格未定
®リエート

* Innovation *

革新

FREDERIC BEAUSOLEIL

フレデリック ポーソレイユ



デザイナー
Frederic Beausoleil

「0/542 Col.042」
価格3万7800円
®トゥーランドット



Le manque de moyen n'est
pas un problème, c'est une
bénédiction qui oblige à plus
de créativité.

お金がなくてもなんの問題もない。それはもっとクリエイティブになれるためのチャンスだ。

FLEYE

フライ



「Nilo-A Col.1009」
価格4万2120円
®フライ ジャパン



CEO/デザイナー
Annette Saust Estø

CEO
Hanne Anderson

PERSONALITY

POSITIV

パーソナリティ

ポジティブ

BELLINGER

ベリンガー



デザイナー
Malene Bellinger
(女性)

Claus Bellinger
(男性)



「Aura Col.6838」価格4万500円
®ベリンガー・ジャパン

Love
Passion
Joy
LIFE IS GREAT!

愛・情熱・歓び
人生って素晴らしい！

BARTON PERREIRA

バートン ペレイラ



デザイナー
Patty Perreira



「AURORA Col.CLARET」
価格5万9400円
®リエート

"Less is More!"

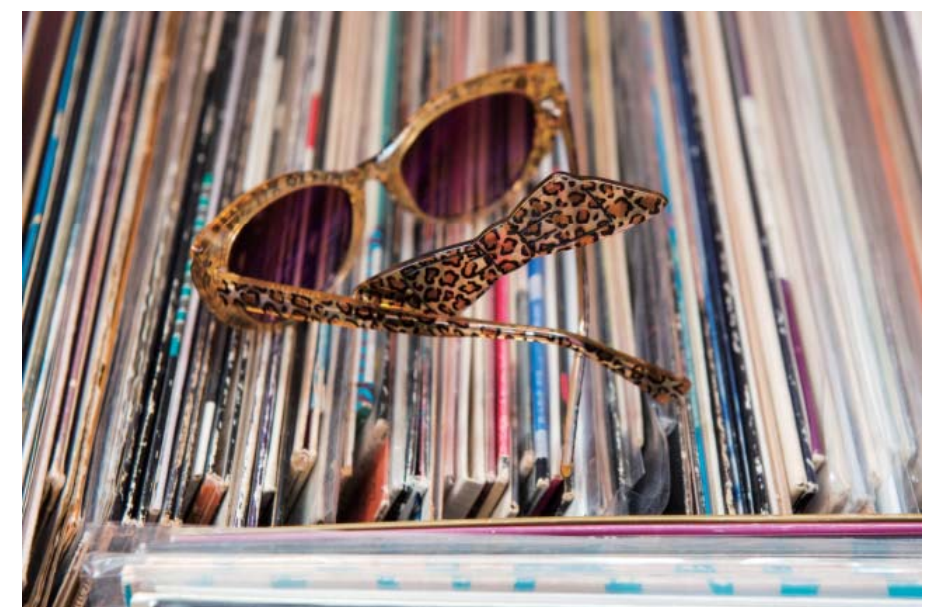
少ないほど、豊かである。



Anderne「Holiday In The Sun Col.GBP-M」価格参考3万4560円 村井



megane and me「JENN Col.PK」価格4万1580円
オンリーグットフォームス



lafont「SAMBA Col.380」価格4万5360円 イワキメガネ

ウィム・ソーメルスさんへの質問

Q. 『テオ』のためのデザインをマタリ・クラセットに依頼したのは、どのような理由から？

A. じつは、マタリから私達に依頼がありました。彼女は眼鏡のデザインを手掛けたいと思っており、パトリック・フートに連絡をとりました。彼女は『フート』の作品や『テオ』が好きだったのです。最初は彼女がデザインするなど、想像もつきませんでした。でも、そんな心配は彼女との初めての会話で吹き飛んでしまいました。お互いの考え方に共通点が多々あることに気付いたからです。彼女のデザインに関する取り組み方は私たちのそれにとっても似ています。未知の域に足を踏み入れることを私たちは怖がりません。

彼女はとてもクリエイティブで、色が好きです。彼女と合わない点なんて、ないのではないかと今は思っています。

Q. 『テオ』は今後、今回のような外国のデザイナーとのコラボレーションを増やしていくのか？

A. 将来のことはわかりません。現時点では、サングラスのコレクションにベルギーのデザイナー、ティム・ヴァン・ステーンベルゲンとのコラボレーションを取り入れています。テオ専属のデザイン・チームもいますし、ベルギー人デザイナーのジェームス、そしてもちろんのこと、パトリックも『テオ』にとってかけがえのないデザイナーです。私達はほかの共同制作の可能性を積極的に探しているわけではありませんが、感覚がぶたりと合う人との出会いがあれば、何が起こるかわかりません。

いつもサプライズが『テオ』を待っているのです。

マタリ・クラセットさんへの質問

Q. コレクションのインスピレーションはどこからくるのですか？

A. 好奇心から。

今回は目を見張るような、そして世界の複雑さを紐解くようなコレクションです。フレームには大きめのレンズを入れることができ、幅も高さも十分あり、まさに眺めのよいテラス席からのビューのようです。ユーザーはグローバル化した世界での自分の人格を再確認することができるでしょう。このフレームはユーザーのアイデンティティをサポートします。

世界を観察する12の方法があります。眼鏡フレームは目とともに作用します。顔はフレームとともに作用します。フレームは目を大きく見せ、眉毛の特性を強調します。私たちが人生に貪欲であることを立証し、それを明らかにするため、眉毛は独特な役割を持っています。

Q. あなたにとってテオの魅力とは？

A. 私とテオの共通点は、色への愛着です。色彩こそ、人生です。ヨーロッパにおいて、人々は色を怖がっていると私は思います。自分達自身で色を使うことを禁じています。でもテオにはそんな心配のかけらもありません。

子供にはみんな、好みの色があります。成長する過程で、それに対する愛情が発達していきます。色を排除することは、人生の楽しみを禁ずるようなものです。色彩がマインドに良い効果があることを、私達は百も承知です。色は、形よりも理解しやすい万国共通の言葉です。形を「読む」には、その形状をまず解釈しなければなりません。でも色は、考える前に見る者に本能的な相互作用をもたらします。私は色を味方として使います。色は私に規準を破る力を与えてくれます。

テオの家族的な、そして人間的な人との接し方が、私は大好きなのです。

眼鏡を掛けていない顔に眼鏡をプラスすると、ほらこんなに素敵！



マタリ・クラセット
Matali Crasset
コレクションに注目

『テオ』に新コレクションが加わった。なんと、初となる海外のデザイナーを起用してのモデルだ。このコレクションがスタートするきっかけは一体なんだったのか？それをさぐるべく、『テオ』の社長であるウィム・ソーメルスさんとマタリ・クラセットさんに質問を問いかけた。
Text／モード・オプティーク編集部 MODE OPTIQUE



マタリ・クラセット

インダストリアルデザイナー。1965年生まれ。フランス人。デザイン学校を卒業後、フィリップ・スタルクのもとで師事。1998年には自身の会社をパリに設立。『アレッシィ』や『イケア』などのプロダクトデザインから、美術館やホテルの内装まで幅広く活躍中。



KODEX

菱型とオーバルを掛け合せたような形が個性的。ピンクとグリーンの優しいカラーコントラストも◎。価格4万5360円



Anne et Valentin

アン・バレンタイン

毎シーズン多彩なデザインとカラーで楽しませてくれる『アン・バレンタイン』。その可愛いルックスだけでなく、細部に至るまでこだわりが見てとれるフレームワークが魅力だ。なかでも最新技術を駆使した新シリーズは、斬新なカラーコンビネーションに加えて独自開発の新ヒンジシステムも搭載した注目作となっている。

Photo／青木健格 Aoki Takenori (WPP)
Text／伊藤美玲 Ito Mirei



KODAC

直線的に張り出した智が印象的なラウンド型。プロウラインのクリアブルーが目元を明るく彩る。価格4万5360円



KROMA

太めのプロウラインで力強さと可愛らしさが同居するフォックス型。サイドには水玉のアクセントも。価格4万5360円

ゆるまないネジと新ヒンジシステムを搭載

メーカーとともに数年の構想と研究を経て、発明・開発したもので、特許を取得した。ネジ弛みを気にせずデザインを楽しめるのは非常にうれしいところ。このように高度な技術を用いながらもワクワクするようなポップなデザインに仕上げているのが、アン・バレンタインの魅力だ。掛ける人の個性をぐっと際立たせてくれる。

この秋発表された「KROMATIC S」は、色に強いこだわりをもつアン・バレンタインが最新技術を駆使して作り上げた新シリーズだ。リヒテンシュタインやギルバート&ジョージといったアーティストの作品やステンドグラスから着想を得たというこのシリーズは、生地を貼り合わせたり、カラーの上に柄を重ねたりした複雑なレイヤーが美しい。

加えて、今作では独自開発のゆるまないネジと新ヒンジシステムを搭載。ヒンジ

©グローブスベックス エージェント

©テオ・ジャパン

メンズ部門
グランプリ

アイメトリクス「エムリム Col.デミ」待望のフルフレームが見事受賞。ダブルフロント構造で従来の掛け心地を保ちつつ、無駄のないシャープなルックスに仕上げたのも受賞のポイントに。価格3万5640円@アイメトリクス・ジャパン



アイウェア・オブ・ザ・イヤー2016
EYEWEAR OF THE YEAR 2016

アイウェア・オブ・ザ・イヤーとは国内外の眼鏡メーカーが今秋発表するフレーム・サングラスのなかから、デザイン・機能に優れた製品を表彰するデザインアワードだ。5部門各3製品が選定され、iOFT初日にグランプリの表彰式が行なわれた。今年はアイメトリクスを筆頭に機能・技術部門以外であっても高度な技術を用いた作品が見られたのが特徴。美しさと機能を兼備したフレームが揃った。

キッズ部門
グランプリ

BCPC KIDS [BK-011 Col.3] ヒンジ部分にβチタンパーツを用い、ソフトな掛け心地と成長を考慮したフィッティング性を実現。小顔な大人女性でも掛けられるサイジングと鮮やかな配色が魅力。価格2万4840円@ポストンクラブ

レディース部門
グランプリ

FLEYE「Ena-A Col.4634」ウッドとカーボンファイバーを高度な技術でラミネート。その技術が評価されたほか、重厚になりがちなプロウフレームを見た目掛け心地ともに軽快に仕上げたデザインも秀逸。価格5万760円@フライジャパン



機能技術部門
グランプリ

トレミー48「AP-019 Col.AW」肉厚なチタン製のフロントは、プレスによる一体成型。50回におよぶプレス工程により三次元的かつなめらかなラインを表現している。価格5万1840円@トレミーフォーティエイト カスタマーサービスセンター

サングラス部門
グランプリ

USH(S)「US-002 Col.1」初のサングラスコレクションは“影”の美しさを表現した芸術的な1本。一見ナイロールに見えるが実はリムレスで、レンズの一部分にマット加工を施して陰影を生み出している。価格3万7800円@アトリエサンク



機能・技術部門
受賞作

革新的な素材使いや構造が決め手に。上／プロデザイン デンマーク「model7910c Col.1011」価格4万8600円@AOE、下／ドゥアン「DUN-LC007」価格6万4800円@三工光学



サングラス部門
受賞作

鼻パッドなしの新設計フレームなどが話題を集めた。上／ちょこサン「FG24500 Col.BR」価格1万4580円@シャルマン、下／ic! berlin「Katharina L. Col.Rosé-Gold-Caramel」価格5万4000円@アイシー! ベルリン ジャパン



キッズ部門
受賞作

子供向けフレームも成熟。好みのスタイルや機能性を吟味できる時代に。右／オンビート「ONB-K05 Col.Q36B」価格3万240円@オンビート、左／トマトグラッシーズ「KidsB Col.TKBC6」価格1万9200円@トマトグラッシーズ



レディース部門
受賞作

女性らしい華やかさや軽さが選考基準に。上／ラフォン「LAF-REND-462」価格4万1040円@イワキメガネ、下／BCPC Style「BP-3200 Col.04」価格2万7000円@グロス銀座



メンズ部門
受賞作

日常に使いやすいデザインと掛け心地のバランスのよさが選考基準に。上／エスブレンドール「EP-2127 Col.04」価格2万5920円@福井めがね工業、下／リンドバーグ「LINDBERG 1800 Horn」価格15万8004円@リンドバーグ

日本の アイウェア 展示会2015

この秋も10月6日～8日の3日間を中心に、都内各所で眼鏡の新作展示会が開催された。東京にいながらにして世界のトレンドが把握できる、眼鏡業界にとってはお祭りのような3日間だ。今季もオーセンティックなデザインがトレンドの中心だったが、海外ブランドを中心にカラーは明るく華やかに変化。国内ブランドは、メタルとプラスチックのコンビネーションが目立った。また、左ページで紹介しているアイウェア・オブ・ザ・イヤーの受賞作にも言えることだが、ベーシックなスタイルをベースにしながらもその表現手法はブランドによってますます多様になってきている。弊誌では、なかでも注目の会場であるiOFT、SITE、LIGHT BOXを徹底取材。ずらりと揃った各ブランドの新作を見て、現在のリアルなトレンドをぜひ感じてほしい。

iOFT @DAIBA

SITE @NIHONBASHI

Light Box EYEWEAR
COLLECTION @AOYAMA

Photo／熊谷義久 Kumagai Yoshihisa
青木健格 Aoki Takenori (WPP)
Text／小堀真子 Kobori Mako
伊藤美玲 Ito Mirei
加藤亮介 Kato Ryosuke
堀田成敏 Hotta Naritoshi